

令和2年度第1学期のスタートに当たり、「目的」と「目標」についてお話しします。皆さんは「目的」と「目標」の違いが分かりますか。「目的」の「的」という字は訓読みで「まと」と読みます。「目標」の「標」の字は訓読みで「しるし」と読みます。その読みの通り、「目的」は到達点であり、人生の目的という「夢」という言葉にも置き換えられます。「目標」はその到達点にたどり着くまでの通過点です。通過点が見えていれば迷いにくくなるし、クリアするたびに達成感が得られます。つまり、目標は多く、具体的であるほど望ましいのです。

新型コロナウイルスの影響で、夏の全国高校野球選手権大会が中止になったことは記憶に新しいと思います。また、インターハイや全国高等学校総合文化祭やNコンなども中止となり、それを受けて県内の各大会も中止になりました。今まで頑張ってきた成果を発揮する場を失い、辛く、悲しい想いをしている高校生も多いことでしょう。また、3ヶ月の間学校が休校になり、その間に達成したかった目標が叶わなかった人もいると思います。しかし、そのようなことは決して人生の目的ではなく、目標の一つに過ぎません。皆さんの目的はもっと先に、もっと高いところにあるはずです。急がば回れという諺がありますが、いつまでも落胆しているのではなく、しっかり前を向き、現在の状況を見据えて新たな目標を設定することが今、大切なことです。

皆さんは「二刀流」としてメジャーリーグで活躍している大谷翔平選手が高校時代に作成した「目標達成シート」をご存知ですか。大谷選手は「8球団からドラフト1位」という一つの到達点を定め、それを達成するために8項目ごとに8つの具体的な目標を設定し、計64もの目標を立ててシートに書き込みました。そして、日々の練習や生活の中でその目標を一つ一つ達成することにより、見事にドラフト1位指名で日本ハム球団に入団しました。その後の活躍は皆さんも充分ご存知のことと思います。

大谷選手の目標は、全てが野球に係るものだけではなく、自身の『運』を高めるものや、人間性を高めるものもあります。一部を紹介すると、『運』という項目の中に、「あいさつ」「ゴミ拾い」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」という目標が、『人間性』という項

目の中に「礼儀」「感謝」「思いやり」「信頼される人間」などの目標が記入されています。これらの目標は、どんな目的にも通じるものではないでしょうか。是非、参考にしてみてください。

さあ、令和2年度が始まる今、皆さんも早速ノートや大きな紙などに新たな「目標」を書き出してみましよう。大谷選手みたいに「目標」は多く、具体的に、そして少し頑張れば達成できる「目標」であることが大切です。「目標」設定が上手に出来る人は、一步一步着実に「目的」へと近づくことができることと思います。

学校生活を含め、日々の生活が日常に戻り、全校生徒が登校して校内に皆さんの笑顔と元気が溢れる日が1日も早く来ることを願い、1学期始業の挨拶とします。